

国際ロータリー第2770地区第10グループ  
**三郷中央ロータリークラブ**  
**週報**  
 会長 小野寺隆 幹事 谷津茂男  
 第1279.80号 2017年9月12日 VOL-08  
 会場：ピアラシティ交流センター  
 本日のSAA 清水浩子  
 会報委員会委員長 田中欣一  
 委員 宮田博・清水浩子・浅賀紀一  
 事務局〒341-0044三郷市戸ヶ崎2299  
 TEL 048-934-9116 FAX 048-934-9335  
 mail:mchuoehrc@maple.ocn.ne.jp  
 RI会長  
 イアンH・S・ライズリー  
 オーストラリア (ビクトリア州)  
 9/12日(火)の例会 【地区派遣米山記念奨学生卓話】 カ・アイカ 様

2770地区ガバナー 大貫 等「新たな行動 新たな感動」  
 小野寺隆会長方針 「奉仕を通じて新たな感動を」



9/12日(火) 会長挨拶 会長 小野寺隆

今日は「お箸の作法」について目にしましたのでご紹介します。皆さんは外食した際、食べ終わったお箸をどうしていますか？ 食べ終わった後のお箸は、お箸紙がある場合必ずお箸紙に納めなくてははいけません。これは他人を不愉快にさせないための小さな気配りなのです。どうせ捨てるものなのだからそこまでしなくとも、と思われるかもしれませんが、汚れたお箸を他人に見せるといのは決して美しいことではありません。正式な作法ではお箸をお箸紙に納めてから、使用したことを表すためにお箸紙の端を少しだけ折り曲げておくのです。昔は使い終わったお箸は必ず折らなければいけないといった作法もありましたが、これはお箸はその人だけのもので、他の人が同じものを使ってはいけないという約束事があったためです。しかし、折るという行為そのものに美しさを見出せなかったことや、折らないことにより、決して使いまわすようなことはされないという相手への信頼を表す意味が生まれ、この作法はだんだんなくなってきたのです。お箸をお箸紙に納めるのはもちろんのこと、器も元通りにきちんと並べておくぐらいの気配りは心得ておくといよいでしょう。ちなみに使った爪楊枝もお箸紙の中に入れておくのが作法です。例え、「ごちそうさまでした」と手を合わさなくても、食せた感謝の気持ちの心だけは持っていたいものです。

1280回 幹事報告 (9/19) 1279回 (9/12) は前号に掲載 幹事 谷津茂男

- 1・ガバナー事務所からの報告
- ① 地区事務所より 地区大会のパンフレット 受領 配布
  - ② ハイライトよねやま 210号★ 2017年9月13日発行 回覧
  - ③ 地区職業奉仕部門より「職業奉仕理念の誕生と発展」DVD 受領
  - ④ 会員増強維持部門「女子会」ご案内 回
- 日時：2017年11月24日(金) 受付 15時00分(点鐘15時30分)～  
 場所：フレンチレストラン「ラヴォワール」(浦和ロイヤルパインズホテル はす前)  
 会費：9,000円(お料理、フリードリンク、写真撮影込み) 締切11/10
- 2・三郷市内、その他からの報告
- 平成29年「吉川警察署管内地域安全暴力排除推進大会」開催のお知らせ  
 日時：平成29年10月7日(日) 14時00分～16時00分まで 回覧  
 場所：三郷市文化会館 締切10/2
  - 三郷市商工会青年部様より 三郷サマーフェスティバル花火大会のお礼状受領
  - 第31回三郷市民まつり「第7回実行委員会」開催のお知らせ 9/25(月)19時～ 商工会
- 3・他クラブ様からの報告  
 三郷ウエズデーロータリークラブ様より週報受領
- 4・我がクラブからの報告  
 次回 9月24日(日)は「夫人同伴親睦例会」です。会場は「綾瀬駅西口「吉祥」」です。  
 時間は午後6時～になります。皆さんの出席よろしくお願いいたします。  
 次週9月26日(火)は振替で休日になります。



「米山記念奨学生」卓話(日本との絆) 地区米山記念奨学生 カ・アイカ様(中国)



これまでの奨学生の生活で得たもの

- ◆ロータリーの奉仕活動に参加する事で、多くの人と接し、人との関わり方や奉仕精神など多くの事を学ぶことが出来た。
- ◆日本での学生生活を通してお金に変えることの出来ない様々な貴重な体験も出来た。
- ◆米山記念奨学部門の多くの活動を通して、沢山の有意義の思い出を作ることが出来た。
- ◆貴重な卓話の機会をいただき、例会のSAAもやらせていただき、日本語と仕事の能力を鍛えることが出来た。

米山奨学生活動 介護老人施設活動 感謝の集いなど



第1279回例会 9/12 ●ニコニコボックス発表 合計 12,000円 累計149,500円

小野寺隆	米山記念奨学生カ・アイカ様、地区委員中田様今日はよろしくお願いいたします。
中田勝久様	米山奨学生の卓話にお招きいただき有り難うございます。今後ともよろしくお願いいたします。
浅賀紀一	米山記念奨学生、地区役員様、卓話有難うございます。今後ともよろしくお願いいたします。
宮田博	前立腺がんの手術をしてから5年たちました。今のところがんの転移も見られず健康に過ごしています。ゴルフのドライバーの飛距離だけが元に戻りません。
沖良男	遅れましたが、ニコニコには間に合いました。
清水浩子	日が短くなってきましたね。今日の夕日はとてもきれいでした。
田中朋之	磯遊びに大洗へ行ってきました。海水温が高くてびっくり!大型台風の発生しないことを祈ります。
加藤英泉	ダイエットしている方の参考に、パスター皿は各砂糖17.9個分、ショートケーキは17個分、カレーライス一皿は32個分だそうです。
吉田栄一	小野寺会長、9月6日の葬儀出席ご苦労様でした。見付様には心よりお悔やみ申し上げます。
田中欣一	地区米山委員の中田様、今日は米山記念奨学生の卓話有難うございました。積極的な生活態度に好感が持てました。

● 出席報告		出席委員長		清水浩子			
例会数	例会日	会員数	出席数	欠席数	免除	MU	出席率
第1279回	09月12日	19名	11名	5名	1名	3名	77.77%
第1278回	09月05日	19名	11名	4名	0名	4名	73.68%
第1277回	08月29日	19名	10名	6名	1名	3名	72.22%





### 日本との絆

### 米山記念奨学生 柯愛霞 (世話クラブ：戸田西RC)

私の名前は中国語で「(keaixia)コアイシャ」と発音します。苗字の「柯」は中国で少ないで、よく外国語の当て字として使われています。例えば、日本の有名なアニメの「コナン」の「コ」の当て字も私の苗字です。日本語では、漢字の音読みにして、「かあいか」になります。「あいか」と呼んでいただければ、うれしいです。出身地は中国の河北省です。故郷の懐来県は首都の北京と接していて、西北の方にあります。北京に行く場合車で大体1時間半かかります。有名物はブドウとワイン。万里の長城に近いので、「長城ワイン」と名付けられました。中国ではとても有名です。高速道路の出口にワインの彫塑があります。「懐来、中国の葡萄の故郷」と書いてあります。次に、家族の紹介です。私を含め、3人で。母と6歳年上の姉です。これは修士修了式で撮った写真です。真ん中は母です。姉は中国で結婚して、義理のお兄さんの仕事の関係で、今、家族と大阪で暮らしています。それから、家族みたいな指導先生たち、蔣先生と副指導の白井先生。蔣先生は中国人なので、もちろん、すごく優しくしてくださっています。副指導の先生は日本人の方ですが、指導先生よりもっと親切で、お姉さんたちが日本に来る前、2回のお正月は先生のお宅で過ごしました。ここまで来られるのは、本当に先生たちのお陰です。それに、新しい家族になった、2年間の世話クラブ——戸田西の皆さん。今年度幹事の駒崎繁夫さんは私のカウンセラーです。いつも温かい言葉で励ましてくれます。すごく優しい方です。続きまして、私の研究を紹介させていただきます。今、文教大学大学院、言語文化研究科、言語文化専攻、博士後期課程3年生です。修士から今まで、江戸時代に岡島冠山という日本人の中国語学者によって作られた、当時の通訳の唐通事たちに使われていた、それに初めて日本で出版された中国語の教科書、こちらの『唐話纂要』を資料として、当時の中国語の発音及び今までのその発音の変遷についての研究をしています。この『唐話纂要』に、(中国語の右側に)中国語の発音が片仮名で表記されています。これらの仮名を通して、300年前に使われていた中国語の発音の特徴が解釈できます。この研究は、中国語音の変遷史においても、日中交流史においても、とても意義のある研究です。振り替えてみると、日本で暮らしている家族、先生たち、今やっている研究、自分は日本との関わりはとても多いです。実は、大学から、日本との縁がもう始まりました。

高校を卒業してから、大学4年間は北京の私立大学で過ごしました。日本のドラマが大好きで、日本語を専門として勉強し始めました。当時の私立大学の学歴が中国では認められなかったため、自学で北京大学の日本語の文学学士を取りました。自学試験は、日本語じゃない科目がほぼ三分の二でした。言葉の環境が殆どなかったため、大学にいる間、日本語があまり話せなかったです。卒業してすぐ日本へ留学しに来たかったのですが、経済的な問題が大きくて、できませんでした。貯金するために、卒業してから学校を通して、愛知県東海市のカネ美食品の工場で、実習生の身分で一年間働きました。工場でお弁当の盛り付けなどのライン仕事をしていたので、毎日同じ動作を繰り返して、半年を経て、指が痛くて夜中まで眠れない時もありました。でも、この1年、工場で日本人の友達ができ、一緒に花火大会に行ったり、料理をしたりして、沢山の思い出を作りました。そして、毎週、東海市日中友好協会の日本語教室で、無料で日本語を学ぶことができました。それだけではなく、先生に着物を着せていただいたり、一緒にクリスマスを過ごしたり、一緒にバーベキューをしたりして、それから、長野県へ旅行にも行きました。沢山の日本文化を体験できました。帰国する前に、工場の社員たちと、京都の金閣寺、清水寺、富士川を渡って富士山を見て、東京ディズニーランドなど沢山の観光地に連れて行っていただきました。つらい記憶もあったのですが、自分にとっては、本当に忘れられない1年でした。日本人の温かさにも触れることもできました。実習生の時給がかなり少なかったため、帰国した時、一年間100万までいってなかったです。でも、留学する手続きの準備金として十分でした。留学を申請している間、元の大学日本語学科の事務室で働きながら、同じく日本に行く実習生たちに日本語を教える先生として北京の日中対外友好協会センターに勤めました。半年が経って、やっと留学という夢を叶えました。文教大学大学院に入って、研修生1年、修士2年、それから、今博士3年目です。



。留学生になって、多くの日本人の学生と同じように、勉強とアルバイトが生活の中心となっています。よく一緒に火鍋を食べたり、餃子を作ったりして、楽しく過ごしています。次はアルバイト生活。留学してから、寿司屋さん、居酒屋、コンビニ、花屋さん、学校など沢山のアルバイトをやりました。一番長かったのは、居酒屋で料理を作るアルバイトでした。キッチンに女の子が私1人、外国人も私1人しかいなかったんですけど、皆さんがすごく優しくしてくれたので、3年間続きました。実習生の時、日中友好協会東海支部でお世話になって、日本語を勉強しましたが、今、越谷支部の中国語教室で中国語を教えています。不思議な縁だなあと、いつも思っています。また、家庭教師として、去年まで83歳のお爺さんに中国語を教えています。中国語を教えることより、私はお爺ちゃんに沢山の教わりました。勉強とバイト以外では、修士から、文教大学ローターアクトクラブを通して、多くの奉仕活動に参加しています。例えば、ゴミ拾い、マラソン大会、キャップ回収とか。毎年のクリスマス例会と新年例会、それに、色んな記念例会にも出席しています。昨年度のアクト地区大会、私は会計をつとめました。沢山のことを勉強することが出来て、とてもいい経験になりました。米山奨学生になって、今年は2年目です。私は特に何もなければ、毎週に例会に出席しています。例会を通して、世話クラブの皆さんと親しくなって、例会の木曜日はとても楽しい時間になっています。普通の例会ではよくSAAをやっています。お陰で、すごくいい経験だと思います。また、クラブの親睦旅行などのクラブ内の活動を通じて、ロータリアンと沢山交流しています。それに、戸田西クラブの鈴木農園で毎月農業委員会をやります。学友、現役の奨学生、それからロータリアンも参加しています。それから、毎年の献血活動、キャンドルナイト、戸田橋花火などの沢山の活動を通して、ロータリアン、学友と奨学生との多くの交流も行っています。世話クラブ以外、米山部門の介護老人施設奉仕活動、感謝の集いとか、地区のロータリーフェスタ、青少年フェスタ、学友部門主催の富士登山、日帰り旅行、それに、他のクラブの活動として、浦和北の農作業ボランティア、大宮北東の児童養護施設の子供たちとの花火大会、杉戸RCの皆様と杉戸流灯まつり などにも参加させていただきました。お陰で、たくさんの仲間を作ることができました。普段、たまに連絡して、一緒に食事をしたり、飲みに行ったりして、カラオケとかスキーとかも一緒に行きました。それから、私の誕生日の時、同期の奨学生にサプライズまでされて、すごく感動しました。米山奨学生になったお陰で、本当に、数えきれないたくさんの思い出を作ることが出来ました。奨学生に選ばれて、自分には、一番感じた変化は経済的な面です。実は、大学を卒業してから、お金の方は、全て自分が負担しています。なので、長時間のアルバイトで生活費や学費を稼がなければなりません。米山奨学生に選ばれて、経済的には、本当に大変助かりました。皆さんのご支援のおかげで、私は、今、中国語教師以外のアルバイトを全部辞めて、研究に集中することができるようになりました。経済的な面だけでなく、私は学業以外でロータリーの奉仕活動に参加する事で、多くの人と接し、人との関わり方や奉仕精神など多くの事を学ぶことが出来ました。奨学生になった事で、日本での学生生活を通してお金に変えることの出来ない様々な貴重な体験も出来ました。米山記念奨学部門の多くの活動を通して、沢山の有意義の思い出を作ることが出来ました。本日みたいに、貴重な卓話の機会をいただき、そして、世話クラブ例会のSAAもやらせていただき、日本語と仕事の能力を鍛えることが出来ました。では、もう一度振り替えてみると、大学に入ってから、ちょうど10年です。今年は11年目に入りました。人生の中で、一番大切な10年間、ずっと日本と繋がって、切っても切れない絆となっています。留学することは、私にとって、人生を変えたと言っても過言ではありません。日本に来て、沢山の優しい日本人の方と出会ったからこそ、今の自分がいます。日本へ留学に来て、本当によかったと思っています。来たる夢として、今の段階で、一つ目、母を幸せにしたいです。二つ目、将来、教師をやりながら、今の研究をし続けて、いい言語学者を目指して、頑張りたいと思います。三つ目、皆さんのように、力の限りで、だれかを助けられる、だれかの役に立つ人になりたいと思います。この先、まだまだ長い道のりだとは思いますが、皆さんのご支援を忘れることなく、人生の一つ一つの困難を乗り越え、自分の目標に向かって頑張りたいと思います。最後になりますが、私の夢を支えてくださる皆さん、言葉は言い尽くさず、心から感謝申し上げます。そして、改めて感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願いいたします。

